

## ■中国：国家電網、設備投資の方針を転換へ

現地専門紙は2019年12月2日、送配電事業最大手の国家電網有限公司が、投資方針を転換する内容の社内通達（826号文書）を発行したことを報じた。国家電網はこれまでUHVなど基幹送電設備をメインとした投資を積極的に行ってきたが、今回の通達では、政府が推進する電力体制改革による電気料金の値下げや小売自由化などによる経営環境の変化に対応するため、費用対効果を検証して、生産性を重視していく方針が強調されている。同文書では、特に電力系統への投資予算編成について、赤字部門への投資を禁止するほか、設備投資の必要性などを厳格に審査するように要求するとともに、揚水発電を含むエネルギー貯蔵案件には基本的に新規予算を割当てない方針も示されている。なお、同社は2014～2018年の4年間において2兆3,000億元（約38兆円）という巨額の設備投資を行っている。